

～図書館職員のおすすめする本～

「はしれ ディーゼルきかんしゃデーデ」 童心社 作:すとうあさえ/絵:鈴木まもる



あの東日本大震災から6年がたちました。

あの日、激しく揺れた大地、傾いた建物…。郡山市役所本庁舎も大きな被害を受けました。そして、中央図書館も休館に…。

そして、ガソリンをはじめとする燃料もなくなり、スタンドには長蛇の列…。皆様の中にも、寒空の下、スタンドに並んだ方もいたのではないのでしょうか。

そして2週間後の3月26日…。待ちに待った石油が郡山駅に到着しました。その陰には、不眠不休で輸送に当たった鉄道マンの奮戦と、北は北海道、南は九州の門司から集結したディーゼル機関車たちの活躍があったのです。

横浜の根岸から武蔵野線・高崎線・上越線を経由して、新津から磐越西線へ。長い鉄橋や雪の峠を越えて、私たちの待つ郡山へ、石油を運ぶ…。

その活躍を描いた絵本「はしれ ディーゼルきかんしゃデーデ」(童心社・作:すとうあさえ/絵:鈴木まもる)が図書館にあります。

この絵本を読んで、復興のため全力でがんばった人々や機関車のことを振り返ってみては? 各地域図書館には「東日本大震災コーナー」もありますので、ぜひご利用ください。(中央図書館再開館後は、中央図書館にも設置します。)

※「はしれ ディーゼルきかんしゃデーデ」のある図書館…ビッグアイ臨時図書館、希望ヶ丘図書館、安積図書館、富久山図書館、緑ヶ丘分館、中田分館

「デーデ」たちの活躍の記録～DD51 写真集～

撮影 中央図書館職員(当時)



郡山駅はすぐそこ。逢瀬川を渡るデーデ。



朝もやの郡山駅に進入



磐梯熱海駅で上下列車がすれ違います。



中山峠を轟進する重連。計 4,400 馬力の轟音
初日は雪のため、救援機関車の協力を受けました。



喜多方駅付近の川を渡るところです。



山都付近の名勝「一ノ戸鉄橋」を渡ります。

※デーデたちの所属機関区…驚別機関区(北海道)、愛知機関区(愛知県稲沢市)
吹田機関区(大阪府)、門司機関区(福岡県北九州市)